

New 門

ニュースの門

青春の思い出 写真も動画も

木 卒業アルバム

土 サウナ

日 介護福祉士

火 大阪松竹座

水 交番

世論調査部 伊福幸大

投書欄「気流」を担当。戦争の体験を寄せてくれた投稿者の取材にも注力している。



新型コロナウイルスの流行は、学校の卒業アルバムも大きく変えた。学校行事の中止や制限などで、従来のアルバム作りが難しくなったためだ。コロナ禍でも充実したアルバムを作るため、デジタル化を進める学校が全国で広がった。

デジタル版 自由にカスタマイズ

卒業アルバムの「定番」といえる運動会の写真。これに専用アプリを起動させたスマートフォンをかざすと、音楽とともに児童が懸命に組み体操に挑戦する動画が流れ出した。

東京都葛飾区立花の木小学校は2年前、「動く卒業アルバム」を導入した。写真と動画を結びつけるのは、現実世界に情報を加えて表示するAR(拡張現実)と呼ばれる技術だ。卒業生の風巻知優さん(14)は、「学校行事の様子を思い出しやすく、とても便利」と語る。

コンサルティング企業「Ms」(東京)が開発した動くアルバムの採用を学校側に提案したのは、知優さんの父で、当時PTA会長だった宏さん(55)だ。給

食時の「黙食」など我慢が続いた児童たちに、楽しいアルバムを贈りたいと考えたという。感染対策で運動会など学校行事を直接見られなかった保護者らにも好評だ。

卒業アルバム製作大手の「ダイコロ」(大阪)は今春から、卒業生が自分だけのマイアルバムを作れるデジタル版サービスを始めた。紙のアルバムと別に、スマホなどで閲覧するデジタル版アルバムについては、写真や動画を差し替えて自由に作り替えられるのが特徴だ。卒業後に同窓会の写真などを追加していけば、「一生もの」のアルバムにすることもできる。今年13校が導入したという。

え、手作業での選別はますます困難になっている。

そこで利用が増えているのが、卒業生を可能なかぎり平等に掲載するため、AI(人工知能)に写真を選ばせるサービスだ。児童・生徒の登場回数だけでなく、写真の大きさや立ち位置まで考慮し、なるべく平等になるようAIが掲載写真を選び

AIで平等掲載

「うちの子が全然写っていない。どういう基準で写真を選んでいるのか」

アルバム作りでクレームや不満の対象になりやすいのが、掲載写真の偏りだ。コロナ禍でマスク姿の児童・生徒の写真が増

コロナ禍で卒業アルバムのデジタル化が進んだ

コロナ禍を過ごす高校生が卒業アルバムで不安に感じること(複数回答)

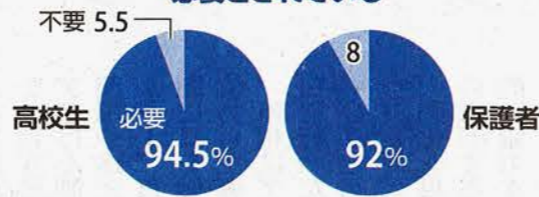


※グラフはダイコロが今年1月、当時の高校生と保護者、各200人を対象にした調査に基づく

スマホをかざすと学校行事の様子が動画で流れる「動く卒業アルバム」



卒業アルバムはコロナ禍でも必要とされている



出す。AIはマスク姿の写真でも、ちゃんと個人を判別できるという。IT企業「エグゼック」(東京)が3年前に開始したこのサービスの利用は、小中高校や幼稚園など計1000件を超えた。

東京都立調布北高校では、体育祭などのページが減った代わ

りに、生徒がスマホで撮影した写真でクラスごとのページを彩った。卒業アルバム委員会で活動した弘中舞衣さん(18)は、「クラスらしさが出た」と語る。

アルバム作りの過程も、デジタル技術が深く関与するようになってきた。



卒業式を翌日に控え、卒業アルバムを眺める高校生(3月13日、東京都調布市の都立調布北高校で)



閉校した京都市内の小学校の卒業アルバムの変遷。明治時代中頃は1枚の写真だったが、行事写真や卒業文集が含まれた冊子に「進化」していった(京都市学校歴史博物館所蔵)

ル化は自然な流れだ。

ダイコロが今年1月に実施した全国の高校生(200人)と保護者(200人)を対象としたインターネットのアンケート調査。高校生の94.5%、保護者の92.0%が「卒業アルバムは必要」と答えた。コロナ禍はアルバム作りにとっても「危機」だったが、アルバムを心待ちにする多くの生徒・保護者らの思いが、進化の原動力となった。

「思い出は、写真も動画も」
今後は、そんなアルバムが当たり前前の時代になりそうだ。

コロナ禍の危機 乗り越え進化

アルバムの進化を後押ししたのが、政府が2019年に打ち出した「GIGAスクール構想」だ。

1人に1台配備されたタブレット端末やパソコンを日常的に使う小中学生らにとって、デジタ

MEMO

個性尊重 文集も収録

卒業アルバムの原型は明治後期の旧帝大などで広まった卒業記念写真とされる。卒業試験に受かった学生らが、めいめいに撮った記念写真を厚紙でとした簡素なものが流行したようだ。

慶応大では1892年(明治25年)から、福沢諭吉ら恩師の写真を、卒業生の顔写真などで取り囲んで配置した記念パネル作りが始まった。学生個人の記念写真にパネルが加わることで、アルバム製作に学校がかかわる流れができた。

大正時代に入ると大学以外の旧制中高校にも広まった。教員と生徒の集合写真や運動会など学校行事の写真も登場し、現代のアルバムにより近い「卒業記念帖」が作成された。

教育の歴史に詳しい京都市学校歴史博物館の学芸員、林潤平さん(35)は、「戦後は、児童の個性を尊重する風潮が強まり、小学校などで一人一人の夢が書かれた文集も収録されるようになった」と指摘する。

米国では卒業生に限ったアルバムはなく、在校生全体を対象とした「イヤブック」という冊子が年1回配布される。

近年、日本のアルバム製作会社が台湾やベトナム、インドネシアに進出。現地の日本人学校で日本式アルバムの採用が増えている。